

平成24年度 第2回社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

I. 日 時：平成24年6月9日（土） 11：00～13：00

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室、

III. 出席者：前田委員（ネット参加）井上委員（ネット参加）山路委員 天野アドバイザー
（事務局）井端事務局長、森下主幹、松本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

(1) 学士力実現に求められる教育改善モデルの検討

1. 教育改善モデル実現に求められる教育力

教育改善モデル2案を実現するために必要な教育力について、委員作成の原案にもとづき、2つの教育改善モデルの内容を確認しながら検討した。

- ・4年間を通じて関連科目の教員と連携する授業なので、全体のカリキュラムの位置づけは重要。
- ・他の科目とどう結びつくかがわからない教員もいるため、シラバスの調整をしないと科目の連携ができないのではないかな。
- ・交流会、FD、授業の公開などしている学校もあるが、そうでないところもある。
- ・学科の目標やポリシーすら認識できていない教員もいるので、それをわかった上で自分の科目がどのような位置づけにあるかは知っておかなければならない。
- ・個人としてではなく、教員間で共有しなければならない。
- ・実践現場と協働で教育方法や教材など開発することが必要ではないかな。
- ・他人事だと思っている学生も多いため、主体的に学修を組み立てられるように指導しなければならない。
- ・社会福祉学に特化したものにするには、フィールドワーク、社会調査について記述した方がよいのではないかな。
- ・社会問題をしっかり把握できるためには社会調査してからでないとフィールドワークはできない。
- ・フィールドワークと社会調査の項目は別にすべき。
- ・実態把握のために社会調査の技法を指導することが大事。
- ・学修ポートフォリオを活用して学生のレベルにあった指導をすべきではないかな。
- ・ICTを活用して関連分野の教員・関係団体などから評価を受け、改善することが大切。
- ・情報を共有するので守秘義務についてのノウハウも必要。個人情報に配慮しなければならない。

などと意見が出され、教育改善モデル実現に求められる教育力として7項目にまとめた。

2. 教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題

上記でまとめた「教育改善モデル実現に求められる教育力」の7項目に沿って、FD活動と大学としての課題に分けて検討した。

(1) FD活動

授業内容と教育方針との整合性、ワークショップの実施、外部評価による振り返りについての研究会、国内外の研修活動への参加の4項目にまとめた。

(2) 大学としての課題

多様なコンテンツのアーカイブ化、ICT教育手法への教育支援体制の構築、関連分野の教員や福祉サービス利用者団体等関係機関との連携へ制度および財政的な支援の3項目にまとめた。

V. 次回委員会

開催日時：9月15日（土）13：00～

検討事項：学士力の背景（全体）について

各到達目標の解説について

以上